

らくらく積み込み、らくらく排出！ 極東開発が「新型2トンごみ収集車」を新発売

極東開発工業株式会社(本社:兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号 社長:田中 勝志 特装車、環境整備機器および施設の製造、販売)は、このたび2トンプレス式ごみ収集車の新機種(商品名:プレスバック)を開発し、平成19年7月1日より発売いたします。

今回の新機種では、従来機種のボデー曲面に加え、テールゲートも丸みを帯びた曲面フォルムを採用し、イメージを一新するデザインにしました。また、極東開発独自の機構を満載することで、抜群の作業効率と積込量アップを実現しました。本機種の投入により、ごみ収集車市場での拡販を図り、平成20年3月期でごみ収集車市場でのシェア25%(平成19年3月期:21%<国内シェア第3位>)を目指します。

※シェアは、当社調査による



ごみ収集車には「プレス式」と「回転板式」があります。「プレス式」は、1枚のプレートによりごみを圧縮しごみのかさを減らして積み込む方式で、大型ごみまで積み込みが可能です。「回転板式」は2枚のプレートを回転させながら積み込む方式で、家庭ごみ(袋入り)の積み込みに適しています。

POINT !

●特長

①らくらく積み込み、らくらく排出 2トン車クラス最大の投入口幅 **業界トップ**

2トン車クラス最大のワイドな投入口(①幅:1,440mm。当社従来比20mmアップ / ②高さ:800mm。当社従来比20mmアップ。)を確保しました。これにより、ごみの投入作業の飛躍的な効率アップを実現しました。

また、排出時のテールゲートの開口角度は102°と、従来に比べ7°大きく確保。ごみの排出作業を格段にスムーズに行うことができるようになりました。

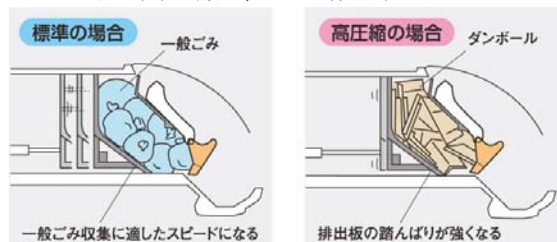


②積込量アップ 国内トップクラスの積込量を実現

多くのごみを効率よく収集するために、様々な改良を行いました。

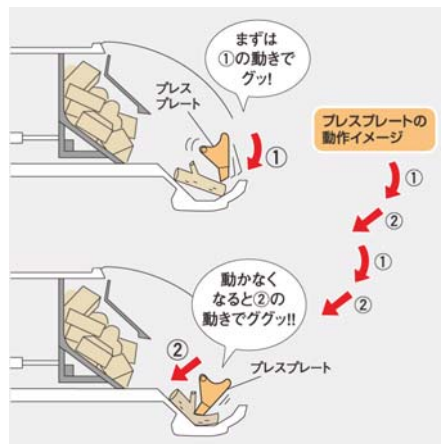
1) 排出板自動後退機構の改良 **特許出願中**

ごみの種類や作業状況に合わせて排出板自動後退のスピードを切り替えるスイッチを標準装備しました。これにより、状況に応じてごみを高圧縮し、かさを減らすことができるようになりました。



2) インチング機構の改良

プレスプレートでゴミを圧縮するためのインチング機構を改良しました。これにより、プレス力がアップし、ゴミをより圧縮することができるようになりました。



通常、①の動きでゴミを積み込んでいますが、プレスプレートが硬いものをかき込んで動かなくなると、圧縮の方向が自動的に②に変わり、約1.4倍にパワーアップし、ゴミを効率よく圧縮変形します。その後①と②を繰り返しながら、ゴミを効率よく積み込みます。

3) ボデーの設計変更による、ボデー容量のアップ 各機種容量0.1 m³アップ

これらの改良により、国内トップクラスの積込量を実現しました。

③環境にやさしく 極東開発独自の機構で作業環境改善

汚水や臭気の漏れを防ぐため、次のような改良をくわえました。

1) ボデー後部のスチフナ形状の画期的な改良 特許出願中

汚水を汚水タンクに誘導するためのスチフナの形状を改良しました。

これにより汚水の飛散を大幅に低減しました。

2) テールゲートシールゴムの上部追加 特許出願中

テールゲートのシールゴムについて従来幌布にてカバーしていたテールゲート上部にシールゴムを追加しました。これにより上部コーナー部からの汚水飛散や臭気漏れの防止を実現しました。

これらの改良により、汚水や臭気漏れがほとんどなくなり、より環境にやさしくなりました。

低騒音化

早朝の住宅街やビルの地下等での作業を考慮し、従来機種より作動音の低減を図りました。

●販売価格

ユーザー希望小売価格 3,680 千円～4,600 千円(税込み。シヤン価格を除く)

※価格はボデー容量(4.3 m³～6.8 m³)により異なります。

●販売目標

年間450台(平成20年3月期)

<広報お問合せ先> 極東開発工業株式会社 経営企画部法務広報課
〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6-1-45
電話 (0798) 66-1500 F A X (0798) 66-8146
ホームページアドレス : <http://www.kyokuto.com/>